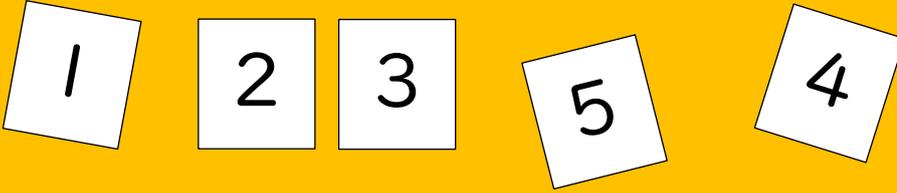


【算数】

<学習内容>

◆「ひき算のヒミツ」（教科書P7～9）



1～5の数字から2つえらんで、2けたの数を作ってみよう。

□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

全部でいくつの数ができるかな？

つくった2しゅるいの2けたの数を使って、2けたどうしのひき算の式を考えて、答えをもとめましょう。

□	□	—	□	□	=	□
---	---	---	---	---	---	---

## 答えが同じになる式には何かきまりがあるのかな？

同じ答えでなかま分けした式の、一の位と十の位の数のちがいを見てみると…。



1～9に数字カードを増やして式を作ってみよう。

### <保護者による関わり方のポイント>

- ・ 1、2、3、4、5、の中から2枚を組み合わせると2桁の数を作らせます。  
※位の考え方や、桁という数の見方を思い出させることが大切です。（低学年の復習になります。）
- ・ 全部で20種類を見付けさせます。その中で順序よく並べると、「落ち」や「重なり」をなくすことができることに気付かせたい。これは、算数で大切にしたい考え方「じゅんじょよく考える」（教科書P6）につながります。
- ・ ひき算の式ができる場合とできない場合（答えが負の数になる）があることに気付かせることが大切です。
- ・ 答えが同じになる場合のきまりを考えさせます。子どもが「きまり見付けた」のような発言をした際には、「教えて！」と聞き返し、子ども自身に説明させることで、筋道立てて考える力を育むことができます。  
☞子どもが上手に説明できない場合も、ここでは丁寧に聞いてあげてください。
- ・ 数を増やして、「他の場合でも考える」という算数で大切にしたい考え方につながります。（教科書P6）難しい場合は、6の数字カードだけ増やして、考えさせ、少しずつ数を増やしてもよいです。